

ブラジル金融政策(2018年3月)

～0.25%ポイントの利下げを行い、追加緩和を示唆～

2018年3月22日

お伝えしたいポイント

- ・ ブラジル中央銀行は0.25%ポイントの利下げを行い、追加緩和を示唆
- ・ 2017年のGDP(国内総生産)成長率は3年ぶりにプラス。今後の経済成長は加速を見込む
- ・ 今後のブラジル金融市場は大統領選挙の動向次第

<ブラジル中央銀行は0.25%ポイントの利下げを行い、追加緩和を示唆>

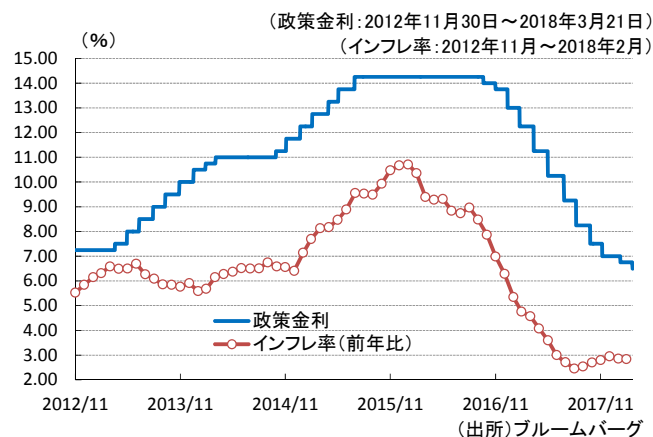
ブラジル中央銀行は3月21日(現地、以下同様)、政策金利を市場予想通り0.25%ポイント引き下げ、過去最低の6.50%とすることを決定しました。2016年10月以来の実施分を合わせると合計7.75%ポイントの利下げ幅となります。

中央銀行は前回の金融政策委員会の声明文で、金融緩和プロセスを中断するのが適切であると、利下げ打ち止めを示唆していました。しかし、今回も利下げが行われた背景には、足元2月のインフレ率が前年比2.84%と、中央銀行のインフレ目標の範囲(3%～6%)の下限を下回っており、伸びの鈍化が続いたことがあると考えられます。今回の声明文でも、年初の想定よりもインフレが軟調に推移したと述べられています。

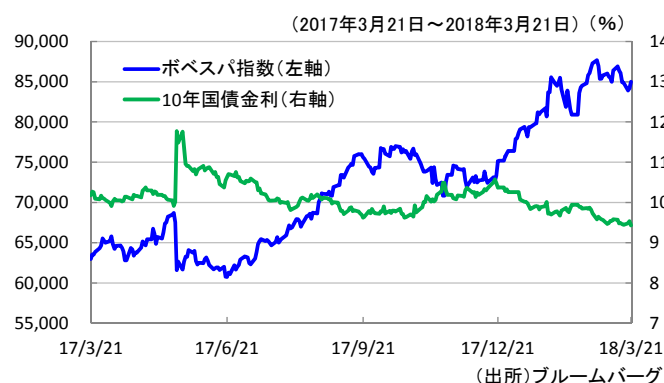
さらに、中央銀行は今後の金融政策運営についても、インフレ率が中央銀行の目標に戻る時期が遅れるリスクを低下させるために、次回の金融政策委員会での適度な追加緩和が適切であるとの見方を示しました。

当社では、前回のマーケットレター(「ブラジル金融政策(2018年2月)～0.25%ポイントの利下げを行い、金融緩和サイクルの終了を示唆～」)の時点では、前回の0.25%ポイントの利下げをもって金融緩和サイクルが終了すると見込んでいましたが、現時点では次回の金融政策委員会での追加緩和を見込んでいます。

《政策金利とインフレ率の推移》



《国債金利および株価指数の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<2017年のGDP成長率は3年ぶりにプラス。今後の経済成長は加速を見込む>

3月1日に発表された2017年10-12月期のGDP(国内総生産)成長率は前期比+0.1%となり、4四半期連続のプラス成長となりました。また、2017年のGDP成長率は前年比+1.0%となりました。通年のGDP成長率がプラスとなるのは3年ぶりで、2015年から2016年にかけての景気後退から脱したとみられます。

大統領選挙などの懸念材料はありますが、当社では、景気後退期に繰り延べられてきた設備更新などの潜在的な需要の顕在化や、堅調な世界景気に支えられ、2018年の経済成長は加速することを見込んでいます。

<今後のブラジル金融市場は大統領選挙の動向次第>

ブラジルの構造改革の目玉とされていた年金改革法案は、リオデジャネイロ州の治安回復を目的とする同州への連邦政府の介入に関する大統領令が2月に発令されたことによって、早期採決が断念されました。年金改革には憲法改正を伴いますが、ブラジル憲法の定めで、連邦政府の介入中には憲法は改正できないことになっており、同法案の採決は介入停止を待たなければなりません。ブラジル政府は同法案の採決を事実上、先送りしたと考えられます。

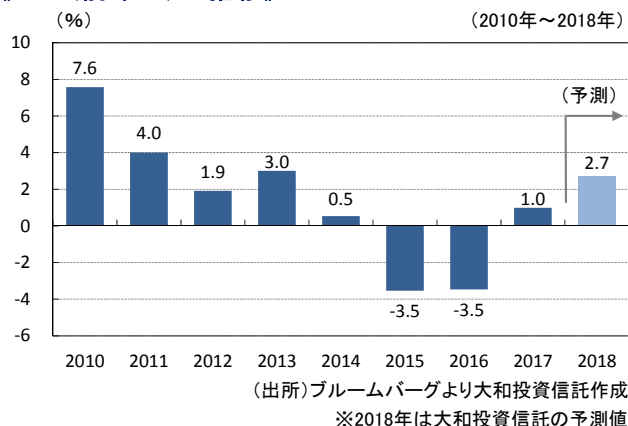
ブラジル政府は大統領令の発令後、ブラジル中央電力会社の民営化など15項目からなる優先的な経済政策パッケージを発表し、構造改革への姿勢をアピールしました。しかし、大統領選挙を控えていることから、構造改革が停滞する可能性は高いとみています。

大統領選挙については、世論調査では有罪判決によって出馬が困難になっているルラ元大統領の支持率が依然高いままであり、同氏を除けば大統領選挙は有力候補不在の混戦模様となっています。今後、大統領選挙が近づいていくにつれて、立候補者の顔ぶれやそれぞれのマニフェストが明らかになっていくと思われれます。

今後のブラジルの金融市場は大統領選挙の動向に左右される展開が見込まれますが、大統領選挙で構造改革の継続に前向きな候補の当選が有力になれば、ブラジルの景気回復とあいまって金融市場を下支えするとみています。

以上

《GDP(前年比)の推移》

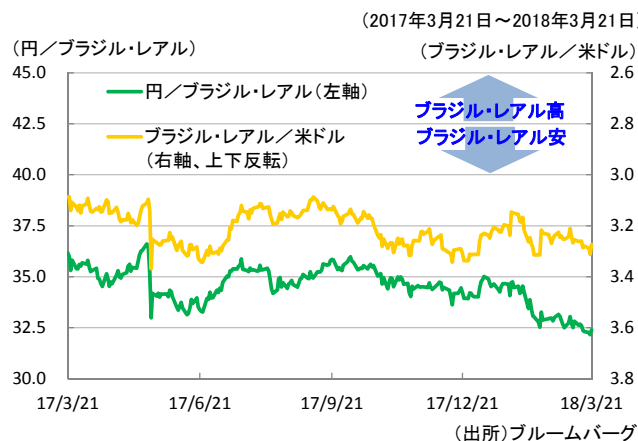


《選挙日程》

7/20～8/5	各党が立候補者や連立を決定
8/15	立候補の申込締切り
10/7	第1回投票
10/28	第2回投票

(出所)各種資料より大和投資信託作成

《為替の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

- ・ブラジル金融政策(2018年2月)~0.25%ポイントの利下げを行い、金融緩和サイクルの終了を示唆~(2018/2/8)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180208_1.html
- ・ルラ元ブラジル大統領への有罪判決で年金改革への期待感が継続(2018/1/25)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180125_2.html
- ・ブラジルの格下げについて(2018年1月)(2018/1/12)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180112_1.html
- ・ブラジル出張報告②(経済・社会の「今」) ~経済、金融市場の安定を保つ上でも構造改革の進展は重要~(2018/1/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180105_1.html
- ・ブラジル出張報告①(政治の「今」) ~年金改革および大統領選挙の行方~(2017/12/26)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171226_1.html
- ・ブラジル金融政策(2017年12月)
~利下げ幅を縮小しながら金融緩和を継続。堅調な国内景気がレアルの下支え要因に~(2017/12/7)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171207_3.html
- ・ブラジル金融政策(2017年10月)~利下げを継続もペースは減速。緩和サイクルは終盤へ~(2017/10/26)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171026_1.html
- ・ブラジルのテメル大統領、検察から2度目の起訴~今後の注目点は財政・予算、大統領選挙へ~(2017/9/29)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170929_1.html
- ・ブラジル金融政策(2017年9月)~利下げ継続も今後はペースを鈍化。喫緊の課題への政府の取り組みに期待。~(2017/9/7)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170907_1.html
- ・ブラジル金融政策(2017年7月)~利下げを継続。ブラジルの景気回復と社会保障改革法案の動向に注目。~(2017/7/27)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170727_2.html
- ・ブラジルのテメル大統領の汚職疑惑(2017/6/28)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170628_1.html

◇動画

- ・2018年ブラジル経済見通し~底堅い経済成長を期待~(2018/2/1)
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov96.html>

◇Weekly Report

- ・ブラジルの金融市場動向(毎週更新)
<http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=6>

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>